

「里山の恵みを利用したミニチュア創り体験」

- 1 日 時：令和元年12月14日（土） 10：30～14：00
- 2 場 所：あわら市波松（波松民有林、旧波松小学校）
- 3 参加者：18人（大人12人、子ども6人）
- 4 指導者：河田勝治氏（あわらの自然を愛する会）
- 5 主 催：福井県里山里海湖研究所
共 催：あわらの自然を愛する会
- 6 日 程：10：30～11：30「波松民有林散策」
11：30～12：30「ミニ門松づくり」
12：30～13：00「昼食・休憩」
13：00～14：00「A：竹ランタンづくり」
「B：フォトフレームづくり」

7 イベントの様子

曇り空の中、18名（大人12名 子ども6名）が、あわら市の波松民有林に集まりました。まず、参加者は「あわらの自然を愛する会」の河田会長の案内の元、散策路の歴史や生えている竹についての解説、会が行っている活動についてお話を聞きながら、約1時間民有林を散策しました。

その後、旧波松小学校へ移動し、全員でミニ門松づくりを行いました。参加者は輪切りにした竹の中に真竹を挿し、その周りにマツやナンテン、ササなどを飾り付け、それぞれがオリジナルの門松を作っていました。

お昼を食べた後、午後からはAコース（竹ランタン）とBコース（フォトフレーム）に分かれて作品作りに取り組みました。Aコースでは、竹にドリルを使って光を通すための穴をあけていきました。はじめは慣れない工具に恐る恐る作業をしていた方も、慣れてくると楽しそうに作業を進めていました。また、Bコースでは、端材をネジで組み立ててフォトフレームを作り、ポスターカラーで思い思いの色や模様を塗ってきれいに仕上げていました。

どの参加者もイベントに満足している様子で、また来年も参加したいという声を多く聞くことができました。



